

大船渡漁港 流通構造改革拠点漁港整備事業の概要

1. 趣 旨

消費者へ新鮮で安全な水産物を安定的に供給するため、衛生管理の高度化、生産・流通の効率化の推進に取組み、産地の競争力の強化を図るものである。

2. 事業内容

大船渡漁港において、ソフト施策と連携しつつ、衛生管理の高度化、陸揚げ等の効率化に資する施設整備を実施。

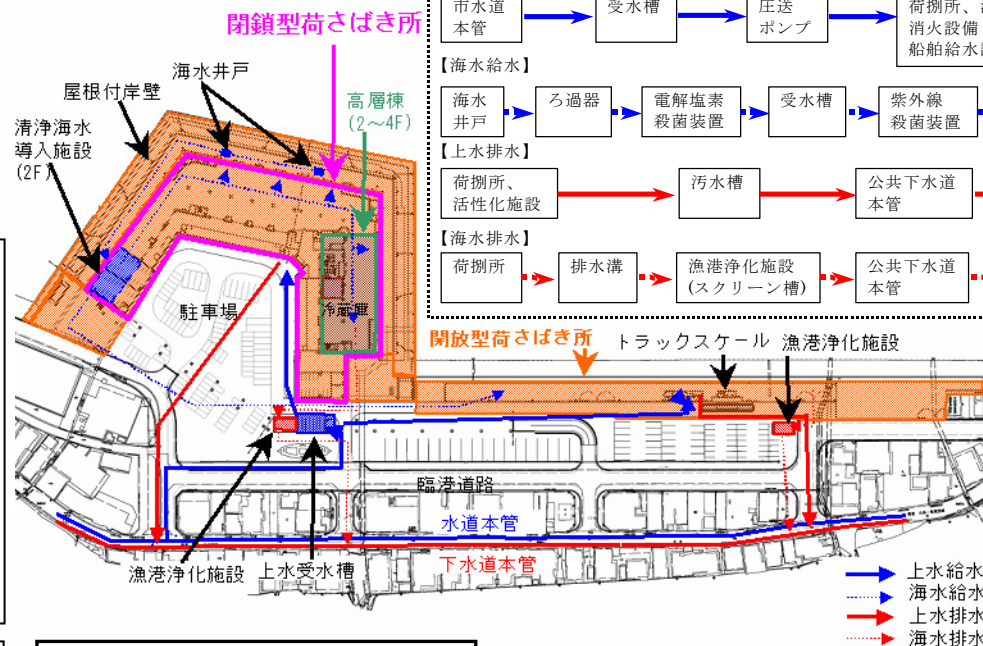
- 荷さばき所・岸壁の衛生管理の高度化と、国内の産地魚市場衛生管理指針等への適合に取組み、消費者へ新鮮で安全な水産物の提供を行う。
- 陸揚げの効率化を図るため、新埠頭において、不足している荷さばき所・岸壁等を整備するとともに、鮮度保持等のソフト対策に取組み、産地の競争力の強化を図る。

	○事業期間：H20～H23 ○事業主体：岩手県、大船渡市
事業内容	○屋根付岸壁 ○人工地盤 ○閉鎖型荷さばき所 ○清浄海水導入施設、漁港浄化施設、鳥獣等侵入防止施設 等

大船渡地区流通構造改革拠点漁港整備事業 ～第3種大船渡漁港～



整備計画平面図



【現状と課題】

○大船渡地区は、平成11年に魚市場を統合し、現在県南地域の流通拠点としての役割を担っており、県内外から集まる水産物を原料にした水産加工業が盛んである。陸揚量は、昭和59年の7万トンピークに減少し、近年は約5万トンで推移している。

●消費者へ新鮮で安全な水産物を安定的に供給するために、衛生管理の強化、陸揚げ等の効率化が課題となっている。

【計画方針】

○衛生管理の高度化、効率的な陸揚げ等に対応できる荷さばき所・岸壁を整備するとともに、衛生管理・鮮度保持などのソフト対策に取組み、産地の競争力の強化を図る。

【計画内容】

事業期間：H20～H23

事業主体：岩手県・大船渡市

事業内容：屋根付岸壁、人工地盤、閉鎖型荷さばき所、清浄海水導入施設、漁港浄化施設、鳥獣等侵入防止施設 等

閉鎖型荷さばき所イメージ図

